

ジェンダー： 子育てと仕事の両立、 老々介護のジェンダー差



ひとつひとつ、社会を変える。



HITOTSUBASHI 150th
SINCE 1875

一橋大学経済研究所
臼井恵美子

親の介護・孫の世話・仕事の両立

中高年女性が家族ケアを担う場合の就業への影響

- 中高年女性は、親(または義理の親)の介護や孫の世話を担う
- では、これらのケア負担は女性の働き方にどのように影響を与えるのか？
- 欧米の研究では？
 - 親の介護は中高年女性の就業確率への影響は比較的小さい
 - しかし、すでに働いている女性については、労働時間を短くする
- 日本では？
 - Oshio and Usui 2018, Ueno and Usui 2021を紹介

中高年者縦断調査

厚生労働省

- 2005年のとき、約34,000人を追跡調査
 - 1946年～1955年生まれ
 - 対象: 50～59歳女性
- 調査項目
 - 親・義理の親の介護状況(同居、別居にかかわらず)
 - 本人が介護しているか、孫の世話をしているか
 - 本人が就業しているか

親介護と就業への影響

- 親の介護による就業への影響は小さい
 - 就業確率は3.2%ポイント減少にとどまる
 - 働いている人の、週労働時間は19分減少、働く日数への影響も小さい
- 一方で、メンタルヘルスへは悪影響
 - Kessler心理的ストレスのスクリーニング尺度(K6スコア)が悪化
 - 過去30日間に「緊張感」、「絶望感」、「不安感・落ち着きのなさ」、「落ち込み感」、「何もかもが面倒な感覚」、「無力感」の感情を経験

孫の世話と就業への影響

- 中高年女性が孫の世話をしても、就業への影響は小さかった
 - 孫の世話により働く割合は3.8%ポイント減少
 - 週の労働時間は46分減少、就業日数も若干減少
- 孫の育児は、メンタルヘルスに影響しない
- 親の介護は、メンタルヘルスへの負担を高める
 - 親の介護と孫の世話を同時にすることは、メンタルストレスをさらに悪化させる

介護・孫の世話・仕事の両立

- 親の介護・孫の世話は、50歳代の女性の就業に大きな影響を与えていない
 - 親の介護・孫の世話と就業の関連が限定的
- 理由
 - 1940～50年生まれの50歳代女性は、非正規職で働き、そもそも労働時間が短い
 - 週労働時間: 31.6(ケアをしている女性) 33.4(ケアしない女性)、正規職は2割
 - 非正規で働く女性が必要性に応じて仕事のスケジュールを調整しやすいことを示唆している

今後の課題

- 今後、より多くの50代女性が正規労働者として労働市場に定着する
 - 自らの労働時間を減らすことが難しくなる可能性
 - 介護と就業の両立を支える政策的支援のあり方を検討する必要
- 介護はメンタルヘルスに悪影響を及ぼすことが示唆される
 - 子どものころの親子関係は、介護期の負担感や関わり方に影響するのか？
 - 介護の役割分担は男女で異なる可能性があり、その実態把握する必要
 - 孫の世話(ケアラーのケア)は、メンタルヘルスに大きな悪影響を与えない